

合格体験記

名古屋市立大学 看護学部看護学科合格

河瀬 美有(46 回生)

西尾市立学校出身

私が大学受験において大切だと思うことは、自分なりのはっきりとした目標をもつことです。高校1年生くらいの早い段階で、将来就きたい仕事や志望校を目標として設定することができると、それを達成するためにやるべきことが明確になり、学習の見通しを立てやすくなると思います。

私は保健師になることが夢であったため、保健師の資格が取得できる大学に合格することを目標としていました。そのために、日々の学習に対して小さなことでもいいので目標をもって取り組むことを意識していました。私は特に、英語と日本史の小テストで満点が取れるように暗記を頑張っていました。満点が取れたときに達成感を感じることができ、小さな目標の達成が学習に対するモチベーションの向上につながったと感じています。また、小テストや定期考を査などで取り組んだ勉強を、模試を目標とした学習に活かしていくことも大切だと思います。

受験をするに当たって、不安なことや自身を失って諦めそうになるときがたくさんありました。私は友達と不安なことを共有して励ましあったり、分からないことや悩みがあったときには学校の先生がアドバイスを下さったりしたため、不安を乗り越えることができました。成長が感じられなかったり、失敗をしたりしても、自分が努力してきたことを信じて最後まで諦めずに頑張ってください。